

教育研究評議会議事要録

日 時 平成17年 2月 8日(火) 13:30~15:55

場 所 事務局大会議室

出席評議員 遠藤(学長・議長), 大関, 中澤, 久慈, 藁科, 兼子, 南條, 豊川, 山寺, 丹野
矢島, 石堂, 星野, 佐藤(敬), 佐々木(甚), 宮田, 荒川, 佐々木(陸), 加藤,
佐々木(大), 工藤, 相川, 片野の各評議員

役員陪席者 永井監事

監査室陪席者 瀧川室長補佐

事務局陪席者 渡邊総務部長, 吉田総務課長, 松井教務課長, 齋藤入試課長他

配付資料

- 資料1 (事前配付) 国立大学法人弘前大学管理運営規則新旧対照表(案)
- 資料2 (事前配付) 弘前大学学位規則新旧対照表(案)
- 資料3 (事前配付) 弘前大学21世紀教育履修規程新旧対照表(案)
- 資料4 (事前配付) 弘前大学国際交流科目履修規程新旧対照表(案)
- 資料5 (事前配付) 弘前大学人文学部規程新旧対照表(案)
- 資料6 (事前配付) 弘前大学教育学部規程新旧対照表(案)
- 資料7 (事前配付) 弘前大学大学院理工学研究科規程新旧対照表(案)
- 資料8 (事前配付) 弘前大学地域共同研究センター規程新旧対照表(案)
- 資料9 (事前配付) 弘前大学名誉博士候補者推薦書(小野正文氏)
- 資料10 (事前配付) 弘前大学名誉博士候補者推薦書(相馬正一氏)
- 資料11 (当日配付) 弘前大学学位規則新旧対照表
- 資料12 (当日配付) (様式1)
- 資料13 (当日配付) 平成17年度大学入試センター試験教科別受験状況調
- 資料14 (当日配付) 平成17年度弘前大学入学志願者数調
平成17年度私費外国人留学生入学志願者数(定員外)
- 資料15 (当日配付) 平成17年度国立大学法人弘前大学予算配分方針
- 資料16 (当日配付) 21世紀教育センター運営委員会報告要旨
- 資料17 (当日配付) 教育・学生委員会(第10回)議事要録(案)
- 資料18 (当日配付) 研究・施設マネジメント委員会報告
- 資料19 (当日配付) 第8回社会連携委員会議事要旨(案)

議事に先立ち, 1月11日開催の教育研究評議会議事要録(案)の確認が行われ, 一部
字句修正の上, 承認された。

審議事項

議題1 学内諸規則の一部改正について

(1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正

渡邊総務部長から, 資料1に基づき, 医学研究科の名称を医学系研究科に変更し, 保健学専攻(修士課程)を設置すること, 教育学部に附属教員養成学研究開発センターを設置することに伴う改正内容等について説明があり, 審議の結果了承され, 役員会へ提案することとした。

(2) 弘前大学学位規則の一部改正

渡邊総務部長から、資料2に基づき、医学研究科を医学系研究科とし、新たに保健学専攻（修士課程）を設置することに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(3) 弘前大学21世紀教育履修規程の一部改正

矢島21世紀教育センター長から、資料3に基づき、人文学部の課程再編に伴い、同学部における基礎教育科目の修得すべき単位数を改めること、教育学部生涯教育課程健康生活専攻及び医学部保健学科放射線技術科学専攻における基礎教育科目の修得すべき単位数を改めることなどに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(4) 弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正

大関理事から、資料4に基づき、国際交流科目として開設する授業科目のうち、日本語によるものを見直しすることに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(5) 弘前大学人文学部規程の一部改正

藁科人文学部長から、資料5に基づき、課程の名称を変更するとともに、各課程の履修コースを置くことに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(6) 弘前大学教育学部規程の一部改正

星野評議員から、資料6に基づき、新たに附属教員養成学研究開発センターを設置すること、コア科目と専門性発展科目を体験・省察の往還を強めながら整理し、さらに、卒業所要単位内で多様な専門性を体系的に発展させることができるカリキュラムに改めることに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(7) 弘前大学大学院理工学研究科規程の一部改正

南條理工学研究科長から、資料7に基づき、電子情報システム工学専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び教科を高等学校教諭専修免許状（情報）に改めることなどに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

(8) 弘前大学地域共同研究センター規程の一部改正

加藤地域共同研究センター長から、資料8に基づき、センターに特任アドバイザー及び特任コーディネーターを置くことができるようにすることに伴う改正内容等について説明があり、審議の結果了承され、役員会へ提案することとした。

議題2 学内共同教育研究施設長候補者の推薦について

(1) 地域共同研究センター長候補者の推薦

学長から、平成17年3月31日をもって任期満了となる加藤陽治現センター長の後任者選考について、管理運営規則第29条第2項の規定により、本評議会の推薦に基づき、学長が任命することになっていること、また同センターでは同現センター長を推薦していることの説明があり、審議の結果、同現センター長を次期センター長候補者として推薦することが了承された。

任期は、平成17年4月1日から2年間。

(2) 機器分析センター長候補者の推薦

学長から、平成17年3月31日をもって定年退職となる奥野智旦現センター長の後任者選考について、同センターでは理工学部の牧野英司教授を推薦している旨説明があり、審議の結果、同教授を次期センター長候補者として推薦することが了承された。

任期は、平成17年4月1日から2年間。

議題3 弘前大学名誉博士の称号授与について

学長から、初めに弘前大学名誉博士称号授与規程中、授与の要件、候補者の推薦、候補者の選考に係る規定内容について、また、資料9及び資料10に基づき、小野 正文氏（元教養部教授、元医療技術短期大学部教授）及び相馬正一氏（岐阜女子大学名誉教授、元教養部非常勤講師）の業績、略歴など推薦理由について説明があり、本日の連絡調整会議において授与するにふさわしいとの判断がなされた旨発言があった。

続いて審議の結果、両氏への本学名誉博士称号授与が了承された。

なお、学長から、授与年月日は平成17年4月1日付けとすること、また、授与式及び新入生を対象とした記念講演会の開催を予定しているが、日時等については、今後両氏とも相談の上決めたい旨発言があった。

また関連して学長から、「太宰治」に関することが両氏共通の研究分野であることから、現在附属図書館内に設けられている「太宰治コーナー」を整備充実し、新たに「太宰治文庫」を開設することになっている。両先生の協力を得ながら同文庫を本学の特徴の一つにしたいと考えており、この4月1日開設に向け、準備を進めている旨説明があった。

報告事項

報告1 弘前大学学位規則の一部改正について

渡邊総務部長から、資料11に基づき、学位記の様式を変更したことに伴う改正内容等について報告があった。

施行年月日は、平成17年1月17日。

報告2 教員人事について

(1) 教員の採用・昇任

薬科人文学部長、星野評議員、山寺医学部保健学科長、佐々木副病院長、南條理工学部部長及び豊川農学生命科学部長から、資料12に基づき、下記教員の採用及び昇任について報告があった。

人文学部	木村 純二（同学部講師）	助教授昇任（17.3.1 付け）
	山口 恵子（同学部講師）	助教授昇任（17.3.1 付け）
教育学部	平井 順治（青森市立浪打中学校長）	教授採用（17.4.1 付け）
	高橋 俊哉（同学部講師）	助教授昇任（17.4.1 付け）
医学部保健学科	安森 由美（大阪市立大学教授）	教授採用（17.4.1 付け）
附属病院	横井 克憲（同病院助手）	講師昇任（17.2.1 付け）
理工学部	福田 真（日本電信電話株式会社主幹研究員）	教授採用（17.4.1 付け）
農学生命科学部	橋本 勝（同学部助教授）	教授昇任（17.4.1 付け）

報告3 学生の懲戒処分について

南條理工学部部長から、昨年12月に本学学生寮で盗難事件を起こした理工学部知能機械システム工学科の4年次学生について、1月16日開催の学部教授会で停学1か月の懲戒処分が適当と認め、学長あて申請し当該処分が決定された旨報告があり、今後クラス担任制を活用して学生指導を行うなど再発防止に努めたい旨発言があった。

報告4 平成17年度大学入試センター試験の実施結果について

大関理事から、資料13に基づき、1月15日（土）・16日（日）に行われた大学入試センター試験の実施結果について報告があった。

結果の概要は、次のとおり。

受験者数 1,487人

教科別受験率	外国語	92.7 %	地理歴史	73.4 %	理科	54.6 %
	理科	55.9 %	理科	49.4 %	国語	90.8 %
	数学	87.6 %	数学	79.6 %	公民	67.4 %

報告5 平成17年度入学者選抜個別学力検査入学志願者数等について

大関理事から、資料14に基づき、2月25日(金)・26日(土)に実施される前期日程及び3月12日(土)に実施される後期日程の入学志願者数、平成17年度私費外国人留学生入学志願者数(定員外)について報告があり、昨年に比較しての志願者増に尽力されたことに感謝したい、また、次年度に向け種々工夫を凝らし志願者の確保に努めていただきたい旨発言があった。

入学志願状況の概要は、次のとおり。

募集人員	前期	873人	後期	252人	合計	1,125人
志願者数	前期	2,843人	後期	2,532人	合計	5,375人
倍率	前期	3.3	後期	10.0	合計	4.8(昨年は、4.4)

私費外国人留学生入学志願者数(定員外) 26人(昨年は、17人)

関連して学長から、昨年度に比べ全体で志願者数が増えたことを高く評価したい。今後各学部においては次年度に向け入学志願状況等を分析し、また、成績等へのフォローを行うなど、今後の入試に関する判断材料にしてもらいたい。さらには法人化後の諸情勢から定員割れを起こさないよう努力願いたい旨要請があった。

報告6 平成17年度国立大学法人弘前大学予算配分方針について

学長から、資料15に基づき、「競争的環境の中にある国立大学として、運営費交付金積算における効率化及び経営改善に対応しつつ、自主性・自律性を確立し、自己責任の下で教育研究の高度化や地域性を活かした個性化を推進する。そのための中期目標・中期計画を達成し、実現するため、優れた事業計画に対する予算の措置を行う。」ことの基本方針が示され、続いて雇用計画に基づく人件費は、優先的に確保すること、管理運営経費は、各部局からの要求を原則として前年度予算配分額以内とし、予算の範囲内配分すること、教育に必要な基礎的経費は、優先的に確保し、学生数を基礎として別に定める単価に基づき積算することなど、13項目にわたる平成17年度における予算配分方針について説明があった。

報告7 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長(同委員会委員長)から、資料16に基づき、1月20日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

木村副センター長の再任

平成17年度開講計画

平成17年度学外非常勤講師資格審査

平成17年度非常勤講師による授業計画

平成17年度ティーチング・アシスタントによる授業計画

平成17年度履修マニュアル

平成17年度21世紀教育の運営等に係る経費

平成17年度年度計画

(2) 教育・学生委員会

大関理事(同委員会委員長)から、資料17に基づき、1月26日開催の同委員会に

ついて、次の事項の概要について説明があった。

ミネソタ大学・南フロリダ大学等の視察
 指導教員の手引き（クラス担任マニュアル）
 学生表彰の選考
 課外活動団体の学外功労者の選考
 平成17年度授業開始までの日程
 学生のレポート提出時の不適切な行為

(3) 研究・施設マネジメント委員会

中澤理事（同委員会委員長）から、資料18に基づき、2月2日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書（第1次）の作成
 平成16年度研究推進白書（仮称）の作成
 総合教育棟利用計画
 寄附建物（旧糖鎖工学研究所）の共用スペース化
 弘前大学共用スペース利用細則（案）等
 旧外国人教師館の管理運営
 知的財産創出本部

平成17年度海外先進教育研究実践支援プログラムの学内公募 ほか

総合教育棟利用計画に関連して人文学部評議員から、他学部に比べ自由に利用できる学習室等がないことなどに対する学生の強い不満等もあることから、総合教育棟の有効活用や人文学部校舎を改築するなど学生の不満を解消できるよう改善してもらいたい旨要望があった。

(4) 社会連携委員会

久慈理事から、資料19に基づき、1月17日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

弘前大学の社会連携ポリシー
 平成17年度年度計画
 弘前大学と弘前市との関わり調査（平成16年度）
 全国高等学校総合文化祭
 正門設置寄贈モニターの利活用
 ひろさき産学官連携フォーラム
 青森県商工労働部新産業創造課からの要請に対する本学の対応
 青森県との産学官連携に関する協議

報告8 その他

(1) 授業料について

学長から、授業料標準額の引き上げに伴い、本学としての対応を決めるに当たって、学内の意見等を伺いたいので、2月28日（火）までに学長あて文書にて総務課経由で提出願いたい旨発言があった。

(2) 法人化後の大学運営について

学長から、法人化後間もなく1年が経過するが、今後の大学運営の参考にするため、法人化後の大学運営に関し意見等を伺いたいので、2月28日（火）までに学長あて文書にて総務課経由で提出願いたい旨発言があった。

(3) 次回以降の開催予定日について

次のとおり予定することとした。

3月 8日（火）13：30～

4月12日（火）13：30～

以上

